



日差しが春の訪れを告げる頃となりました。ぽかぽか陽気の日も増えてきました。グリーンでは冬の間、お休みしていた屋外でのリハビリを再開している方もチラホラ…看護師と縁側で足浴をしている方もいらっしゃいます。外の空気を吸いながら運動したりお話ししたりすると気分転換にもなりますね。

今月は、利用者様がお正月に頑張って作成した作品やご家族の作品が続々と届きましたのでご紹介します！

訪問スナップ♪

※写真はご本人の許可を得て掲載しています。

『今年も頑張ります。その2』(前橋・S様)

先月号でねずみのタペストリーをご紹介しました。その後も続々とねずみシリーズを完成させておられます。福々ねずみ、夫婦ねずみ、押し絵のねずみと、ねずみづくし。そして製作は子年の理学療法士とともに…

お気に入りの作品は量産するのがS様流。先月紹介したタペストリーは×2個、置物タイプの福々ねずみ(写真右上)は×5個、作りました。

夢中になれる活動があると生活にハリが出ます。「ハマる」という体験を、誰かと共有することも、ちょっとした幸せ。毎日をちょっぴり豊かに…
グリーンのモットーのひとつです。



☆お出迎えシリーズ☆

それぞれのお家で個性的なものに出合えるのも訪問サービスの特権です。

『玄関先でお出迎え』

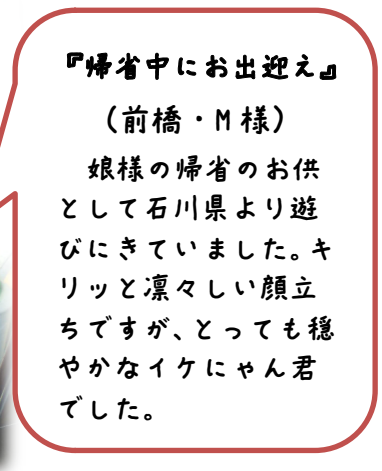
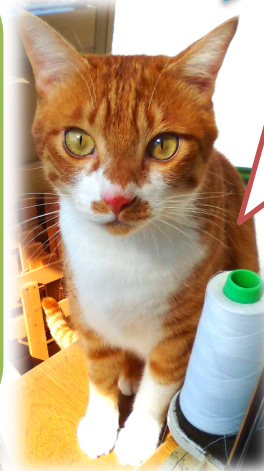
(前橋・H様)

玄関先に象の置物があります。以前は門柱の上にはありましたが昨年の台風騒動の際、危険すぎるインテリアとして地上に下ろされることとなりました。アジアテイストの雑貨屋さんようです。

『帰省中にお出迎え』

(前橋・M様)

娘様の帰省のお供として石川県より遊びにきていました。キリッと凛々しい顔立ちですが、とっても穏やかなイケにゃん君でした。



『植物たちとお出迎え』(前橋・K様)

鮮やかなグリーン達と大物感を漂わせながらのワンショットです。けっこうな鉢数ですが大切に育てていらっしゃいます。ご本人は実は奥に映っている「ぺこちゃん」の置物の方がお気に入り(笑)。K様は、お料理の腕前もピカイチ☆茹で加減の絶妙な卵は、茹で卵ギライの職員息子が「この卵は食べられる!」と嬉しい叫びをあげた程です。植物にはもちろん、ご本人の穏やかなお人柄にも癒されています。



『華麗なる芸術作品』(前橋・Y様)

お部屋に飾られていたお嫁さんの作品です。あまりの完成度の高さに思わずシャッターを切りました。
◎シャドーボックス(左3点) 各パーツを細密に何層にも切り重ねて立体感をもたせるそうです。
◎文化刺繍(右) 完成までに約3ヶ月かかった力作です。
どの作品もとてつもなく繊細! 趣味の域を超えたアート作品を拝むことができました。



投稿コラム第9弾!(前橋市・K様)

「たかがシューズ、されどシューズ」

今年の箱根駅伝でナイキの厚底シューズを履いた選手が好成績を出した。世界陸連も黙っておけなくなり調査に乗り出した、あのシューズに関して。

ランナー…特に長距離を走る選手にとって、軽くて走りやすい靴を身につけることは重要である。厚底のメリットは「クッション性が高く膝への負担が少ない」「身長が高くなりストライドが伸びることでタイムが縮む」「軽量のため足の運びがスムーズになる」といったところだ。

一方、昭和20年代にランナーだった私の世代では、軽くて履き良いシューズとして「足袋」が流行していた。和装で着用するあの履物である。当時は凸凹のゴム底で、底が薄いほど良いとされていた。

先日、当時を知る友人と話す機会があり、この話題が出た。もしあの時「厚底シューズがあったなら…」と思った。隔世の感を禁じ得ない。

余談だが、アトランタオリンピックの頃、やはり軽くて履きやすいシューズがあった。靴下を履かなくても良いという靴で、多くのランナーは素足で履いた。一人、旭化成の選手が靴下を履いて走った。マメをつくらずに完走した。ちょっとしたことだがパフォーマンスへの影響は大なり。ランナーにとって靴は勝敗を左右する重要なアイテムなのである。

群馬県内幅広く訪問!

看護・リハ受付中!

言語聴覚士の訪問も可能です。
お気軽にご相談ください!

『初の大作』

(前橋・S様)

普段は根付や小ぶりの木目込みを楽しんでいらっしゃる方です。

今回は初の大作に挑戦。

「令和吉祥花」という扇型の押し絵飾りです。華やかでちょっと珍しい形が素敵ですね。

年末年始に製作しました。体調が優れない時期でしたが、コツコツと取り組んでおられました。とても大変でしたが、完成した時はとびきりの感動が得られました!

現在は雛祭りにちなんだ作品に挑戦中です。手工芸を通して季節の変化を楽しむこともリハビリになりますね。

